

有意に高く、30歳から49歳の女性でCIN3+の検出率が有意に高い結果が得られた¹⁾。

また、併用検診は米国、ドイツなどの経済規模の大きい先進国でも導入されており、HPV検査を導入した子宮頸がん検診方法として、有効性が高いと考えられる。

一方、併用検診においては以下の課題があるため、自治体での導入に際してハードルがあると考えられる。本法を第2推奨とした。

i) 併用検診では、検診結果ごとに次回検診が1年後もしくは3年後に分かれ、自治体における受診者の運用管理業務が増大する。

ii) 併用検診は複数年度でみれば費用対効果の良い方法であるが、導入初年度には細胞診とHPV検査の2つを実施するため、自治体の費用負担が一時的に増加する。

3. HPV検査単独検診（5年間隔）：推奨せず

HPV検査単独検診（5年間隔）はわが国の現状を踏まえ、現時点では推奨しないこととした。

その理由は、i) 受診間隔を5年にまで延ばせることを担保する国内エビデンスがない、ii) 受診者登録制度をはじめ、検診の精度管理体制が不十分である、iii) 5年間隔検診導入はさらなる検診受診率低下を招く危険がある、iv) 女性の産婦人科受診機会の減少に伴い、子宮体がん、卵巣がん、乳がんなど重大な疾患の発見が遅れる可能性があるなど、わが国の現状を斟酌した結果である。

4. HPV検査適応年齢

1) 20歳台は、HPV検査は一過性感染による偽陽性が多く、不利益が多いため従来どおり細胞診単独検診を推奨した。

2) 30～64歳をHPV検査適応年齢とし、“HPV検査上乘せ検診”または“併用検診”を推奨した。

3) 65歳以上は、30～64歳に準ずることとしたが、直近（60歳以降）の検診で細胞診とHPV検査がともに陰性であれば、検診を終了することもできるとした。

Ⅲ. おわりに

日本産婦人科医会は子宮頸がん死亡の減少だけでなく、妊孕能ならびに女性のQOLを堅持するために高度前がん病変の発見にも力を注いでいる。そのためには精度の高いHPV検査の導入・普及は時代的要請となってきた。今回提示したHPV検査導入法は、わが国の現状を踏まえた当面の暫定的なものと考えている。今後、国内のエビデンスが蓄積され、検診の精度管理体制が整い、子宮頸がん罹患率上昇に歯止めがかけられた時にはHPV検査単独検診も含めて、より良い子宮頸がん検診のアルゴリズム（運用手順）を検討する必要がある。

一方、欧米ではHPV検査を導入した子宮頸がん検診は、画一的なアルゴリズムによる検診から個人のリスク別管理への移行が進んでいる。リスク別管理は、今回の検診結果だけでなく、過去の結果も考慮して個々人のリスクに応じて管理を行うものであり、検診の有効性と効率性が大きく改善される可能性がある。米国ではASCCP（American Society for Colposcopy and Cervical Pathology）の新ガイドラインが2020年より運用開始され、検診アルゴリズムによる管理から個人のリスク（具体的には、現在のCIN3+リスクと5年後のCIN3+リスクにより判断）に応じた管理に移行している²⁾。欧州でもRISCC（Risk-based Screening for Cervical Cancer）プロジェクトが立ち上げられており、リスク別管理に向かっている³⁾。

わが国もリスク別管理への移行を検討したいところであるが、残念ながら環境が整備されていない。受診者登録制度、精度管理体制などが整っていないため、リスク別管理の基礎となるリスクデータを得ることができない現状にある。将来的に有効かつ効率の良い実際に機能する子宮頸がん検診の実施のためには、これらの体制を整えるよう国への働きかけが必要である。

謝 辞

HPV検査の導入法をはじめ、多くの有意義な資料、意見をいただいたがん対策委員の先生方に深甚なる謝意を表します。

参考文献

- 1) Ohishi T, Kigawa J, Suzuki M, et al. Int J Gynecol Obstet 2021 (in press)
Is cytology/HPV co-testing for cervical cancer screening useful in Japan ?
- 2) Perkins RB, Guido RS, Castle PE, et al. J Low Genit Tract Dis 2020;24:102-131
2019 ASCCP risk-based management consensus guidelines for abnormal cervical cancer screening tests and cancer precursors.
- 3) <https://www.riscc-h2020.eu/>